

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価

回答率 = 8/8
=100%放課後等デイサービス
伊都のゆめふうせんネクスト

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	2	0	指定基準に基づき十分に確保している 少人数に分ける工夫をし、子どもたちが落ち着いた環境の中にいる
	2	職員の配置数は適切であるか	5	3	0	指定基準に基づき配置している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2	2	物があふれている箇所があるので、整理整頓を実行 部屋の境に段差はなく、階段に手すりあり 現状、バリアフリー化までの必要性が低い 必要性に応じて、車いすが入れるスロープを検討
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	0	0	施設外活動の行程表を流用 日々、個人目標を設定して、反省・改善を取り入れている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	社内研修で改善策を考えて、実行している
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1	0	HPで公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3	0	設立して3年目で、まだ事例がない 理事会で、第三者委員を設立している
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	0	火曜日、木曜日11:15-12:00の週2回
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	計画相談時にアセスメントを行い、個別支援計画に反映している
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1	0	アセスメントシートを使用し評価 児童の状況に応じてアセスメントの形を工夫している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	社内研修や終礼で話し合っている 行程表の作成
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1	0	職員間で、意見を出し合って話し合いをしている 子どものリクエストを取り入てる
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1	0	1ヶ月間の活動予定を立てて、更に1日のスケジュールと目標を立ててる
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1	0	保護者様の希望や本人の希望を取り入れ、個別支援計画を作成
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	前日の終礼で確認、担当や活動の取り組みを決める
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	0	毎日、終礼を実施して支援の振り返りを実施、改善・対策を立てる
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	業務日誌、コミュニケーションメモ
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	2	0	モニタリングで、計画の見直しを検討	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5	2	0	地域行事やイベントなど積極的に参加	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1	0	基本的に管理者、児発管が参加	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	1	0	時間割りで下校時間確認 送迎時に遅れそうな時は、担当者が学校へ連絡している トラブル発生時は、直ぐに上司へ連絡している	
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	4	0	現在医療的ケアを必要とする児童がいないが、受け入れの際には体制の整備を行う	

関係機関 や保護者との 連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	6	0	受け入れの際には、事前連絡を行い情報を共有する
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	4	2	理事長から連絡しているため、職員が関わることがない 受け入れの際には、事前連絡を行い情報を共有する
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	2	支援センターが主催する研修や講演会に可能な限り参加している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	4	交流会を企画する
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	2	毎回、参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	1	毎日、サービス提供記録を提出
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	2	0	理事長が随時対応 保護者会で、ペアレント・トレーニングを紹介
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	4	0	契約時、計画相談、モニタリング、保護者会で説明をしている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2	0	即答は避けて、一旦持ち帰る。終礼等で報告して、理事長より保護者様と連絡をとる
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	0	0	年2回、保護者会を実施
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	苦情マニュアルに基づいて対応している 理事長が窓口として、迅速に対応している クレーム対応を翌日に持ち越さない
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	SNSを活用
	35	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	やむを得ない個人情報の持ち出しは、台帳管理で徹底している
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1	0	現状で、情報のやり取りが難しい保護者様が少ないため、特別な配慮はしていないが、今後の配慮のため検討をする
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	4	3	現在地域住民参加型の行事はないが、今後事業所の行事で地域住民を参加させる事を検討する	
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	2	0	いつでも閲覧できるようにしている 社内研修やSNSで連絡している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1	0	定期的に避難訓練を実施
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	2	0	社内研修や終礼で話し合っているが、定期的に社内研修をする
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	1	0	同意書を作成し、保護者様に説明を行った上で同意を得ている 個別支援計画にも記載している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	2	1	保護者様より情報共有している
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	終礼時に気づきメモを取り入れている 社内研修で、車の危険予知トレーニングを実施	